

総務民生常任委員会行政視察報告書

総務民生常任委員会

委員 岩藤 睦子

1. 視察日時 平成 29 年 11 月 7 日（火）～11 月 9 日（木）
2. 視察先・事項 埼玉県草加市；無料の認知症検診事業について
東京都稲城市；社会貢献活動ポイント制度について
東京都東村山市；東村山市版株主総会について

◆11 月 7 日（火）埼玉県草加市；無料の認知症検診事業について

1. 草加市の概要

埼玉県南東部に位置する人口は約 25 万人の市。越谷市に次いで県内 6 位の人口を有する。施行時特例市。南側を東京都足立区と接する。草加松原や草加煎餅で知られる。

人口	247,481 人	
65 歳以上高齢者数	59,301 人	（高齢化率 23.9%）
75 歳以上高齢化率	26,365 人	（高齢化率 10.6%）
		（平成 29 年 4 月 1 日現在）

2. 財政

平成 29 年度一般会計当初予算	736 億 1,300 万円
平成 29 年度特別会計当初予算	564 億 4,742 万円
平成 29 年度企業会計当初予算	216 億 7,644 万円
合計	1,517 億 6,286 万円

3. 視察内容

経緯と概要：平成 25 年 4 月草加八潮医師会に認知症検診準備委員会が設置され、第 1 回準備委員会で市との連携の必要性が求められたことから第 2 回準備委員会から市も出席し、6 回の準備委員会を経て平成 26 年 4 月に草加八潮医師会と契約し 6 月から草加八潮医師会と連携し事業を開始する。平成 26 年度から毎年、広報紙で介護保険特集号を組み、またポスターを市内公共施設や指定医療機関に貼り周知を図っている。

実施時期は毎年 6 月から 12 月中旬で実施し、平成 28 年度では草加市 43 箇所八潮市 19 箇所の指定医療機関で受診できる。対象者は 65 歳以上。指定期間で「脳の健康度チェック票」質問 16 項目を記入し医師の問診を受け一次判定後、結果により 3 分類される。費用は無料、医療機関に支払う委託料は脳の健康度チェック票 1 件につき 1,000 円で精密検査報告書 1 件につき 500 円受診に必要なものは健康保険証、お薬手帳。平成 28 年度の受信者数は、対象者(65 歳以上)人口 58,027 人に対し受信者が 2,349 人で受診率が 4%だった。28 年度の決算額は 2,897,519 円。

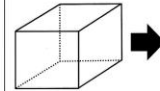
脳健康度チェック票 第0017717

氏名	フリガナ() 男 女 生年月日 () 年 月 日 () 歳	平成 年 月 日
住所	〒 市 区 町 丁目 番 号 号	

※次の質問に「はい」「いいえ」で答えてください。(当てはまる方に○をつけてください)

質問項目	はい	いいえ
1 最近、家族からもの忘れがあると書かれたことがある。		
2 物の名前や人の名前が思い出せないことがよくある。		
3 毎日1回以上まい忘れがあり、さがすことが多い。		
4 今日が平気何年何月何日なのか、分からない時がある。		
5 ここがどこなのか分からなくなり、人に聞いたことがある。または、最近、財布やカードを失くしたと思ひ、あとで衣袋の中にあつた経験がある。		
6 いつも作っていた料理の作り方が分からなくなったことがある。		
7 計算の間違ひが多い。または、お金の勘定をよく間違える。		
8 前に食べた食事の内容を思い出せないことがある。		
9 最近落ちつきがなく、驚きやすくなったと言われる。		
10 元気がでない。または、仕事をやる気がしない。		
11 夜眠れないことが多い。		
12 野菜の名前を10個以上言えない。		
13 現在の総理大臣の名前を知らない。		
14 いつも使っている物の名前が出てこず、あれ、それとごまかすことがある。		
15 おなげを煮がたり、風呂の水を出しっぱなしにしたことがある。		

下の図形と同じものを書いてください。(※「はい」「いいえ」欄は医療機関にて記入) () ()



合計

この検診で得た情報について、地域包括支援センターへ情報提供し、見守り活動等に活用することを同意します。
はい・いいえ 氏名

判定	医療機関名	医師名	印
1. 健康です。もの忘れもなく脳は元気です。			
2. 少しもの忘れがありそうです。さらに詳しく調べましょう。 コメント欄			
3. 現在認知症の治療中である。			

[1] 市検出用

認知症検診精密検査報告書

※精密検査を実施後、認知症検診実施機関が当報告書を記入 精検番号()

氏名	男 女	生年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日 () 歳
住所	〒 340- 市		

脳健康度チェック票該当項目 ※「はい」の回答がある番号に○をつけてください
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
計 () 項目

精密検査実施日	精密検査実施医療機関
平成 年 月 日	

既往歴 糖尿病 あり・なし 高脂血症 あり・なし
高血圧 あり・なし

検査方法 (下記のうち行った検査に○を付けて下さい)
1. MMSE (点/30点満点) 2. HDS-R (点/30点満点)
3. 頭部 CT 4. 頭部 MRI 5. VSRAD (z-score=)
6. 頭部 SPECT 7. 頭部 PET 8. MIBG シンチ 9. 脳液
10. CSF Aβ、CSF タウ、血漿 Aβ 11. その他 ()

診断所見 (下記のうち主たる診断に○、他は△を記入してください)
1. 異常なし 2. 軽度認知障害 (MCI) 3. 加齢関連認知低下 (AACD)
4. アルツハイマー型認知症 5. 脳血管性認知症 6. レビー小体型認知症
7. 前頭側頭型認知症 (FTD) 8. 嚔核粒型認知症 9. うつ病 (うつ状態)
10. せん妄 11. 甲状腺機能低下症 12. 正常圧水頭症 13. 慢性硬膜下血腫
14. 薬剤性 () 15. その他 () 16. 診断未定

治療 1. 不要 2. 要 (以下の該当するものに○を記入してください)
① 他の医療機関へ紹介
医療機関名: _____
所在地: _____
電話: _____
② 当院で治療中 A. 投薬 (以下の投薬に○を記入してください)
塩酸ドネペジル (mg) ガランタミン (mg)
リバスチグミン (mg) メマンチン (mg)
その他の薬 (mg)
B. 手術 (施行・予定) C. リハビリテーション D. 食事療法
E. 対症療法 F. その他 ()

認知症検診実施機関	名称
所在地	電話
	医師

脳健康度チェック票

精密検査報告書

- 課題：①受診率向上のため、今以上に周知を行う
②認知症検診実施後の指定医療機関と2次医療期間とのスムーズな連携をめざす
③認知症結果を地域包括支援センター等の地域の社会資源と情報共有し、連携した支援をめざす

4. 所見

本市においても超高齢化が進みつつある。認知症は高齢者だけとは限らない。「若年性認知症」は65歳未満の人が発症する認知症だ。物忘れが出たり、仕事や生活に支障をきたすようになって、年齢の若さから認知症を疑わなかったり、病院で診察を受けても、うつ病や更年期障害などと間違われることもあり、診断までに時間がかかってしまうケースがある。認知症の早期発見、早期対応は非常に重要。定期健診の際に行うこの事業は本市においても大変参考になる事業と考えるが、医師会との連携がとても重要になってくる。議会として、まず行政と医師会との連携を研究していくことが必要と考える。

◆11月8日（水）東京都稲城市；社会貢献活動ポイント制度について

1. 稲城市の概要

稲城市（いなぎし）は、東京都の多摩地域南部にある。日本住宅公団（現：独立行政法人都市再生機構）による1970年代以降の多摩ニュータウン建設や京王相模原線および小田急多摩線の沿線開発に伴い、多摩川流域の既存住宅地と合わせた人口が急増した。古くからナシやブドウの産地である。

人 口 89,344人（平成29年4月1日現在）

世帯数 39,035世帯

2. 財政

平成29年度一般会計当初予算	324億4,000万円
平成29年度特別会計当初予算	195億3,466万円
平成29年度企業会計当初予算	80億9,617万円
合 計	597億7,083万円

3. 視察内容

概要： 第四次稲城市長期総合計画で、人と人とのつながりを基本構想にコミュニティの構築を目指し、市民活動のポイント制度などによる地域の活性化のための事業を制度の位置づけとしている。

平成23年11月にこの制度の認定審査会が立ち上がり、平成24年11月に総務委員会において事業の方向性について報告が行われ、平成25年度4月から事業が開始された。

目的： 活動の参加者へのポイント配布を通じて、市民の活動への参加意欲を促し、また活動に参加する人々の出会いづくりや地域の活性化を図る

内容： 市民と行政の協働を基本とした社会貢献につながる組織的活動に参加する市民（小学生以上）に対して、1回の活動につき1ポイントを付与。10ポイントを貯めると現金で1,000円と交換（単年度に1回まで）

①地域振興プラザ窓口等で手帳を交付

②対象活動へ参加し、手帳に参加した証明となるスタンプを押印またはシールを貼付

③ポイントが10ポイントたまったら1,000円に還元

課題： 地域の活性化を数字で表すことが難しい

事業内容で参加者のバラつきがある

屋外活動は雨で中止となり参加者ゼロとなる等

稲城市市民活動(社会貢献活動)ポイント制度

1. 目的

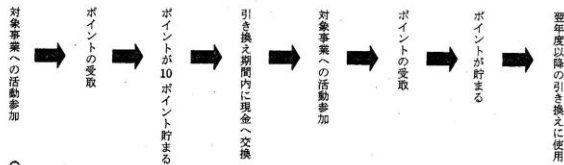
市では、様々な社会貢献活動への市民参加の支援を図ることで、市民に地域への関心をもってもらい、活動への理解と参加を広げながら、地域社会の活性化を図ることを目指し、稲城市市民活動(社会貢献活動)ポイント制度を実施しています。

2. 内容

①市民と行政の協働を基本とした、社会貢献につながる組織的な活動に参加する市民(小学生以上)に対して、1回の活動につき1ポイントをお渡しします。10ポイントを貯めていただくと現金(1,000円)に引き換えることができます。
 ※現金への引き換えは、単年度に1人1回(1,000円)までとなります。10ポイントを超えて貯まった分につきましては、翌年度以降の引き換えにご利用いただけます。
 ※引き換えにつきましては、随時できるものではなく引き換え期間を設けておりますので、期間内に引き換えをお願いいたします。期間につきましては、決定次第、ホームページ等で周知いたします。

②活動実施にあたり「稲城市市民活動ポイント制度手帳」に担当者によるポイントの押印もしくはポイントシールをお渡しし、個人で手帳へ貼りつけをお願いいたしますので、活動に参加する際にはご持参ください。

3. 単年度におけるポイント受取及び現金への引き換えの流れ



<問い合わせ>
 市民部 市民協働課 協働推進係
 電話：042-378-2111(内線274)

平成29年度 対象事業一覧表

No.	事業名	担当課
1	病院ボランティア	市立病院管理課
2	若葉台イルミネーション2017	市街地整備課
3	子育てサポーターの日	子育て支援課
4	外国人のための日本語教室	生涯学習課
5	稲城市公共施設アダプト制度	管理課 土木課
6	上谷戸ホテルのタペイン稲城	土木課
7	グリーンボランティア活動事業	土木課
8	稲城市立中央図書館シニアボランティア	図書館課
9	録音図書作成	図書館課
10	布芝居制作	図書館課
11	読み聞かせ	図書館課
12	文庫活動	図書館課
13	いなぎ子ども体験塾	図書館課
14	稲城市立学校における環境美化活動	指導課
15	稲城市立学校における学校図書備品や資料の整理・読み聞かせ	指導課
16	稲城市立学校における登下校時の児童・生徒の安全見守り	指導課
17	男女平等を考えるフォーラム事業(女と男のフォーラムいなぎ)	市民協働課
18	稲城市消防本部消防支援ボランティア	警防課
19	「アンテナショップほのか」事業	経済観光課

※対象事業の詳細につきましては、各担当部署にお問合せください。

4. 所見

本市においても平成24年7月5日に長門市みんなが進める市民協働によるまちづくり条例が施行された。長門市市民のちから応援補助金は団体が対象だが、稲城市のこの事業は市民と市の協働事業である。市民が対象事業に参加した場合、1回の活動につき1ポイントを付与することになっており、10ポイントを貯めたら現金1,000円と交換できる。小学生以上から参加できるので小学生にとったら大金である。小さい時から市民活動への参加意欲を促す方策として参考になるのでは。しかし、次の世代がごく自然にボランティア活動にかかわることのできる風土を築いていくことが何よりも重要である。

◆11月9日（木）東京都東村山市；東村山市版株主総会について

1. 東村山市の概要

東村山市（ひがしむらやまし）は、東京都の多摩地域北部にある市である。

- ・都心から30キロ
- ・自然と利便性の調和した住宅都市
- ・市内に9つの駅 交通至便

人 口 150,800 人

世帯数 72,051 世帯

2. 財政

平成29年度一般会計当初予算	530億5,864万円
平成29年度特別会計当初予算	392億8,996万円
合 計	923億4,860万円

3. 視察内容

目的： ●前年度の市政運営残飯に関する包括的な報告をする場ということと、前年度の取り組みや成果に対して評価をいただくということから、民間企業で実施されている株主総会になぞらえて行う。

●第4次行政改革大綱前期基本方針・後期基本方針に掲げた「市の経営ビジョンの徹底と市民との共有」並びに「市の情報の市民との共有、市民参加と協働の推進」に基づき実施することとなっている市民説明会を具現化する。

●市の財政状況や人事行政の運営状況、また施策の成果など市政全般についてわかりやすく報告することで、市民の皆様と認識の共有を図るとともに、市政に対するご意見・ご提案をいただきながら、市の取り組みや成果に対して評価をいただくことを目的とする。

●市民のみなさまに東村山市のオーナーであるという意識を高めていただき、東村山氏の新しい自治を確立する一助とするとともに、自治体経営の質を高めていく。

経緯： ●平成21年に第4次総合計画基本構想及び基本計画の策定に向けた市民ワークショップ（100名参加）「東村山の未来を考える市民会議」で市の財政状況や職員数・給与実態等について、市民にきちんとわかりやすく説明する必要があるとの意見が出る。

●第4次総合計画の策定と並行して第4次行政財政改革大綱の策定し、第1次実行プログラム（平成23年度～平成25年度）に「税制状況についての認識の共有」と「市の人事行政の運営等の状況についての公表」を掲げ、年次計画に「市民説明会の実施」を盛り込む。

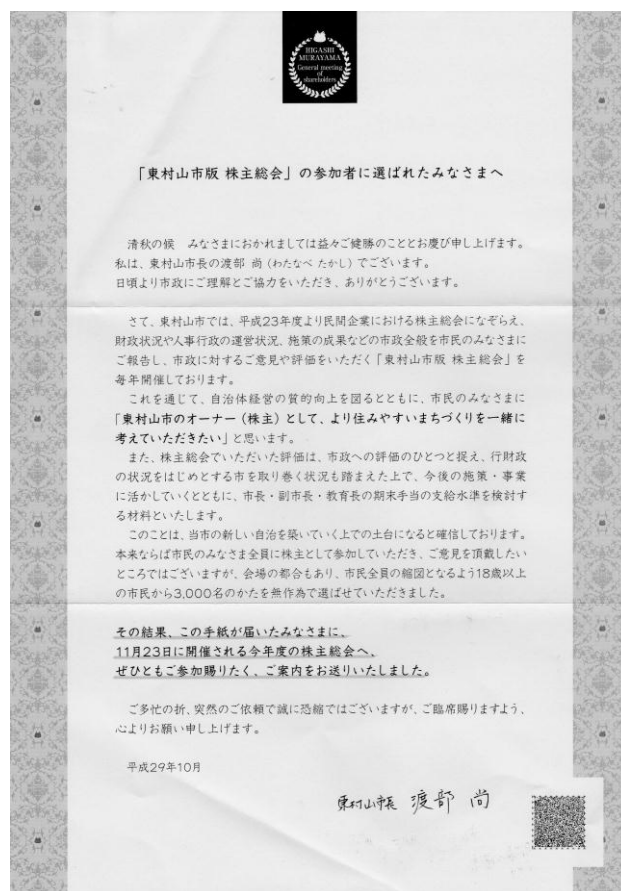
●2期目を目指す市長がマニフェスト「バージョンアップ！東村山」の中で「東村山版株主総会（自治体経営に関する市民集会）の定期開催」、「市長の給与、退職金等に市民による事業評価が反映される仕組みをつくること」を掲げた

●当初は、財政状況や人事行政の状況等を報告する市民説明会を考えていたが、行政の取り組みと市長公約をマッチさせて検討し、市民から意見や評価をもらう双方向の形に進展させた。市民は市の株主であり、オーナー。そのオーナーに前年度の市政運営全般に関する包括的な報告を行って評価してもらうことで、オーナーとしての意識を高めてもらい、市民本位の市政運営、自治体経営の質的向上を図ることとし、**全国初の自治体版株主総会開催へ**

流れ： 住民基本台帳から18歳以上の無作為に抽出された市民に対して案内状が届き、その中から申し込みを行った市民が総会に参加。定員を100名程度とし、参加者多数の場合は抽選。ただし傍聴は可能。発送した案内状の数の5%程度の参加者数を想定しており、より定員に近い人数の市民の多くの市民に参加してもらうため、平成26年度までは2,000人だった案内人数を平成27年度から3,000人に拡大。これによって26年度は57人だった申し込み人数が、27年度は87人、28年度は98人となった。市長は一人で市政報告を行い、参加者による意見交換会・意見発表を行う。その後、5段階で評価を受け、その平均点が3点に満たない場合は市長の期末手当の支給額等に反映させることとしている。

4. 所見

今年度、東村山市版株主総会は11月23日の祝日に行われる予定である。視察の日が9日で参加人数は分からないが、開催時間が13時から16時45分と長丁場だ。それでも年々参加者は増えている。過去の点数の投票結果は3点を上回っている。市長自らが決算や施策の成果など報告事項を市民に対して説明を果たし、市民と向き合う姿勢が素晴らしいと感じた。議会も市民の皆さまに議会報告会を開催しているがヒントとなるのが多く、大変参考になる事業だと感じた。



株主総会への案内状